

デイサービスゆずり葉

令和3年度上半期「運営推進会議」資料

作成：令和3年9月25日(土)

○運営推進会議の目的

利用者のご家族、地域住民の代表者等に、ゆずり葉が提供しているサービス内容等を明らかにすることで、サービスの透明性や質を確保することを目的に設置しています。

※今回の運営推進会議も、新型コロナウイルス感染症対策による臨時的取り扱いに基づき、文書による報告とさせていただきます。



ゆずり葉



事業所概要

地域密着型デイサービス デイサービスゆずり葉

株式会社ゆずり葉「法人理念」

ゆずり葉は、利用者全員が、「この人たち、私のことをわかってくれる」と、安心して過ごせる施設を目指します。

(事業種別) 地域密着型通所介護

(利用定員) 18名

(サービスの提供時間) 9:00～16:15

(営業日) 月・火・水・木・金・土(祝日を含む)

(営業時間) 8:30～17:30

(加算) 入浴介助加算 | 個別機能訓練加算 | 1

サービス提供体制強化加算 |

介護職員処遇改善加算 |

介護職員等特定処遇改善加算 |

(職員数)

「常勤職員」

管理者1名(SW兼務)

生活相談員2名(介護職員兼務)

看護職員1名(機能訓練指導員兼務)

介護職員1名

「非常勤職員」

看護職員2名(機能訓練指導員兼務)

介護職員1名

「育児休業中」

介護職員1名

計9名

運営推進会議の構成メンバー

下記、運営推進会議資料を送付させていただき皆様

(ご利用者・ご家族・地域の代表者の皆様)

*利用者様代表(H様) *ご家族代表(O様)

*西蔭平地区自治会長兼民生委員(K様)

*住吉地区地域包括支援センター(W様)

*住之江在宅介護支援センター(T様)

(チームデイサービスゆずり葉)

管理者:徳留尚愛

生活相談員兼介護職員:新穂美樹 日高千恵

看護職員兼機能訓練指導員:小浦久代 極殿清 野田チエ子

介護職員:黒澤魔弓 田中亜希子 谷口楓子

※別紙アンケート用紙がございます。お手数ですが、最後に

アンケートへご協力下さい。

議事(報告)内容

報告項目

右記の項目に沿って、運営状況の報告を行います



①利用者人数や要介護度等の状況

②サービス提供状況、イベント等の開催状況

③事故やヒヤリハットの件数及び事例

④職員の資質向上に向けた取り組み

⑤利用者の健康管理に係る取り組み

⑥防災の取り組み

⑦地域との連携

⑧今後の展開と自己評価

報告項目①

①利用者人数と要介護 度等の状況

(令和3年9月25日時点)

(登録者総数：[33名](#))

(地域のご利用者：15名 入居のご利用者：18名)

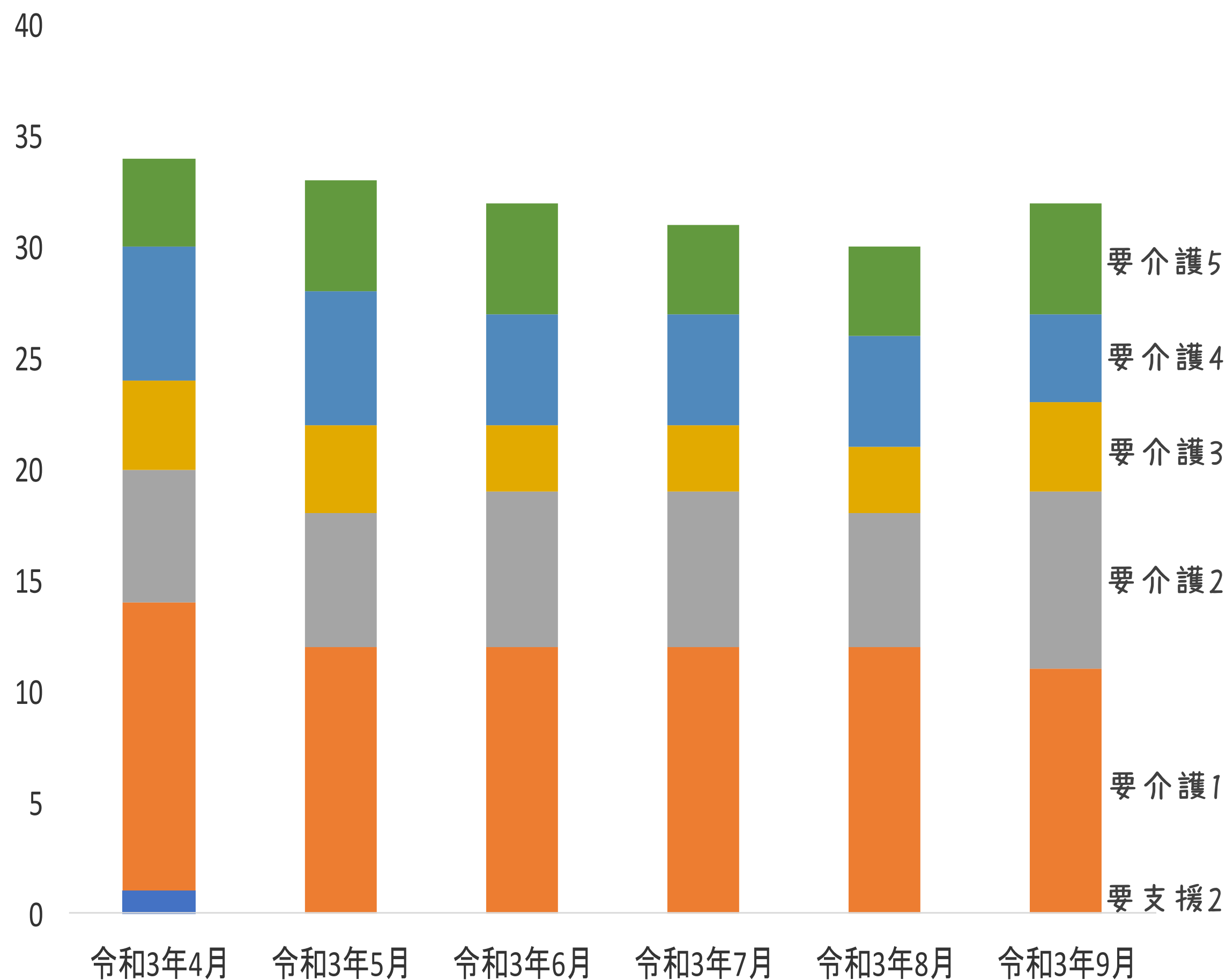
(介護度の内訳)

要介護1：13名 要介護2：6名 要介護3：6名

要介護4：5名 要介護5：5名

(平均介護度：2.4)

令和2年：2.5 令和元年：2.5 平成30年：2.7



報告項目②

②サービス提供状況、イベント等の開催状況

※同封のゆずり葉新聞をご覧ください

4月：プチ花見、押し花、誕生日会

5月：グランドゴルフ大会、誕生日会

6月：誕生日会

7月：ところてん流し

8月：ミニ夏祭り、誕生日会

9月：誕生日会



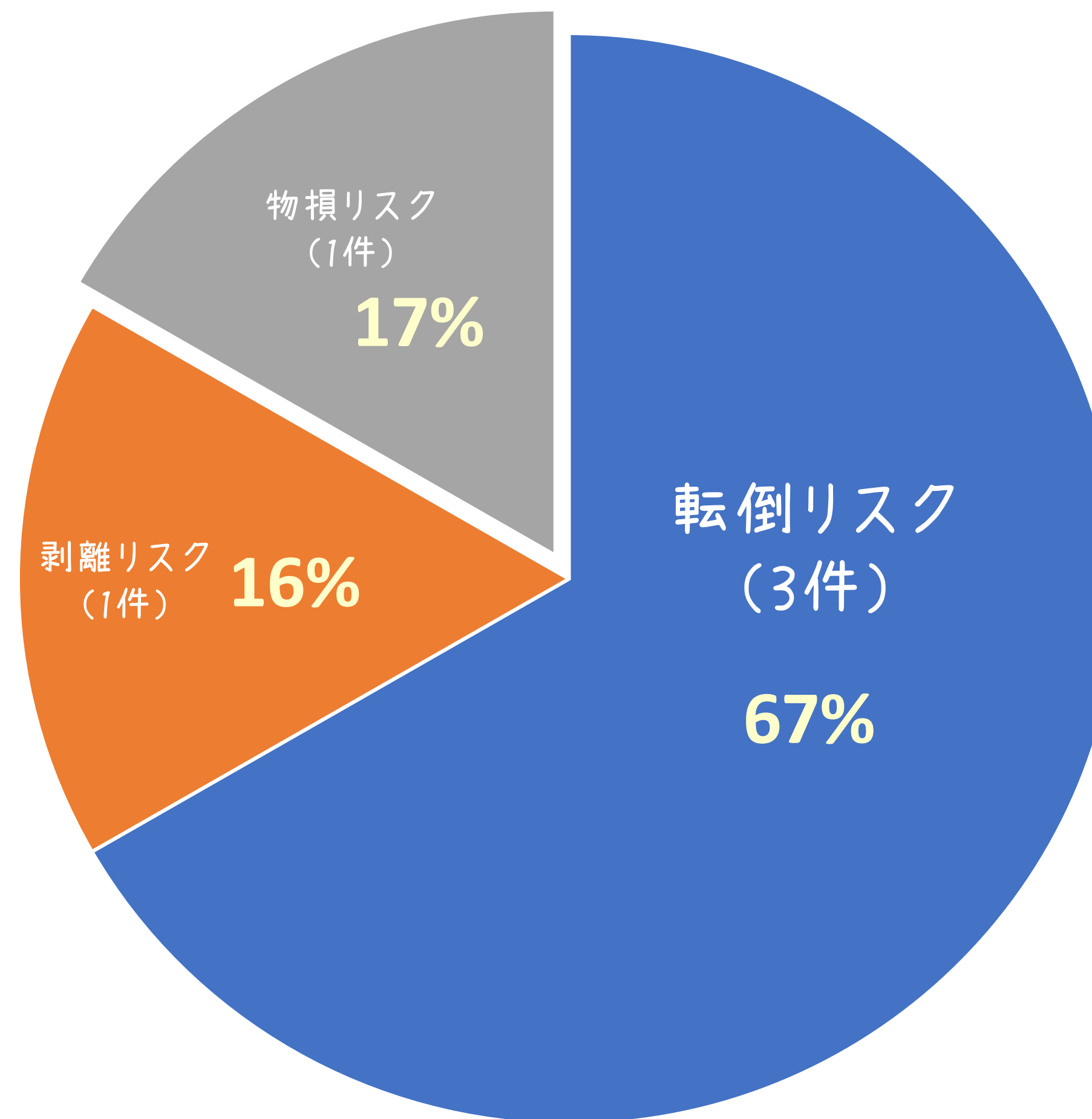
報告項目③

③ 事故やヒヤリハットの 件数及び事例

事故 1 件 ヒヤリハット 4 件

(改善への取り組み)

4月。リスクマネジメント委員会が年間の事故分析を行いました。ゆずり葉のデイサービスと有料老人ホームでもっとも起こりやすい事故は転倒でした。防げる事故と防げない事故とがありますが、起こりやすい状況、できうる対策等をゆずり葉スタッフ全員で研修しました。



介護事故・ヒヤリハット事例紹介

DAY SERVIS YUZURIHA

転倒事故（令和3年8月）

*経緯～脱衣所で転倒。椅子からの立ち上がりを確認し、職員が側にかけつけようとしたところでバランスを崩し左肩を接触。骨や関節、バイタル等に異常はなく、軽度の擦過傷と発赤あり。

*要因～(本人)レビー小体型認知症と脳血管性認知症の混合。意思疎通困難。要介護度4。立ち上がる力は残されているが、保持は不安定。空を掴んだり立ち上がり頻回で、そのまま何もない所で座ろうとされるなど、動作予測が難しい状態。ご自宅での転落・転倒も高頻度で発生。

(職員)座席で目を閉じ動きがない事を確認して、側を離れ他のご利用者の介助に入った。その方が二人介助であったため、安全にかけつけるのに2～3秒の遅れが発生した。

(環境)本人の座席前方には手すり等ない環境であった。床にはクッション性のある滑り止めが敷いてあった。

*再発防止策～本人様の前を一時的に離れる必要がある場合は、座席前に椅子や歩行器を置いて掴まれるようにする。

④職員の資質向上に向けた取り組み

DAY SERVIS YUZURIHA

(年間研修計画)

4月：介護事故予防

5月：尊厳あるコミュニケーション

6月：感染対策のキホン

7月：認知症ケア

8月：移動移乗に関する技術

9月：感染症に関する訓練

※全ての研修は場所や時間に縛られずスマホ等で受講できるようにしています。

(定例会議)

4月：カンファレンス、行事、業務改善、ヒヤリハット、ほめ達人、業務連絡

5月：同上

6月：同上

7月：同上

8月：同上

9月：同上

※毎月の定例会議で、一人の職員をピックアップ。その方の良いところを褒める、「ほめ達」活動を行っています。

(各種委員会活動)

□ 向上委員会

職員の質やサービスの品質に関して委員会メンバーを中心に議論を重ね、現在は近隣スーパーに協力をいただき、コロナ禍で可能な買い物レクリエーションの実行にも動いています。

□ リスクマネジメント委員会

ゆずり葉を利用されるご利用者の安全を第一に、高齢者虐待に関する啓発活動も行っています。

⑤利用者の健康管理に係る取り組み

DAY SERVIS YUZURIHA

【脱水予防】

- ・水分摂取量のチェック
- ・湿度・温度管理(送迎時に行なう、利用者様宅の温度管理や提案を含む)

【感染症予防】

- ・コロナウイルス等の感染予防対策に合わせた施設基準での運営、面会制限
- ・スタッフに対して、出勤前と勤務時間内の体調確認及び体温測定
- ・ご利用者及び同居ご家族の体調チェックシート活用
- ・送迎時に行う体温測定、身体状況についての情報交換
- ・マスク着用、手洗い(都度のタイミングと定時)、正しい手洗いがテーマのレクリエーション
- ・手指消毒、設備消毒、車両消毒、手が触れる場所や器材等の消毒
- ・非接触型体温計やアクリルパネルの活用
- ・日々の服薬確認、管理
- ・入浴毎のボディチェック

報告項目⑥

⑥防災の取り組み

- ・防火設備点検を専門業者に委託
- ・年2回の自衛消防訓練(令和3年6月16日(水)に実施)
- ・土砂災害を想定した防災訓練(令和3年10月に実施予定)

報告項目⑦

⑦地域との連携

(コロナ禍での情報の発信のみ)自治会加入

- ・令和3年9月に、近隣地域約18,000世帯に向けてニュースレターを発行
- ・HPを活用した活動報告等

報告項目⑧

⑧今後の展開と 自己評価

DAY SERVIS YUZURIHA

(今後の展開)

- ・“育てる会社”を目指している。動画研修素材(ウェブ)も、新入職員や、キャリア段階に応じて整えている途上。
- ・令和4年度より、LIFE関連加算を算定。
- ・下半期にゆずり葉ホームページを刷新。またインスタの活用で情報発信を行う。
- ・コロナ禍の状況を見ながら、地域の会合への出席(ウェブを活用したものがあれば積極的に参加)や移送サービス等の協力体制を再開できるように備える。

(自己評価)

今期でオープンより5年9ヶ月。これもひとえに皆様のお力添えと心より感謝申し上げます。目下最大の課題である感染対策では、職員の出勤基準を所定より厳しく引き上げ、正直、職員の体制は綱渡りの状況です。デイサービスのご利用にあたっては、毎日体調等の確認にご協力をいただきながら、現在まで関係者に感染なくサービスを提供できました。また感染があった場合にも、迅速な対応ができるようにシミュレートを継続しています。地域連携の課題は、特に防災の面で残されています。下半期には、法人全体で災害時にも事業を継続するための計画を策定する予定です。※別紙アンケートにご協力ください。



ご協力ありがとうございました



(お問い合わせ)

デイサービスゆずり葉 TEL:0985-86-8212 FAX:0985-86-8214 担当:徳留・新穂

